



総合通信基盤局電気通信事業部
料金サービス課専門職

浜尾 由佳子
HAMAOKO YUKAKO

平成 23年 4月 総務省採用
情報流通行政局郵政行政部信書便事業課
平成 24年 8月 情報流通行政局郵政行政部企画課
平成 26年 8月 総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課
平成 28年 7月 情報流通行政局放送政策課
平成 29年 7月 現職



当たり前の生活を守るしごと

ユニバーサルサービスを支えるしくみ

あなたにとって生活に不可欠なサービスはなんですか。水道や電気を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。それと同じくらい、電話も生活に不可欠な重要なサービスなんです。それらはユニバーサルサービスと呼ばれ、NTT東西が日本全国で電話のユニバーサルサービスを提供しています。しかし地域によっては、採算が取れない地域もあり、その収支は赤字になっているので、その赤字が拡大して電話のサービスが提供されないといった状況にならないように、電話を使うみんなで支えるしくみが作られています。私はそのしくみが適切に運用されるための仕事をしています。

もし競争だけに委ねると、採算が取れない地域でサービスを提供する事業者がいなくなるおそれもあるので、こうした地域を含めて日本全国のユニバーサルサービスを守るため、行政の役割は大切です。利用者の生活の当たり前を守る取り組みができることがこの仕事のやりがいだと思います。

ユニバの未来を見据えて

環境の変化が早い通信サービスを取り扱う私たちの職場では、自分たちが普段使っている身近なサービスだからこそ、若手関係なく率直な発想が求められています。若手のうちから、通信事業者や通信分野の専門家、消費者団体からのヒアリングの場に参加したり、自分の考えを伝えることができる雰囲気自然になっていて、風通しのいい職場だと思います。

ユニバーサルサービスについても、環境の変化を踏まえて、時代と未来を見据えた制度作りが検討されています。その検討の中では、ユニバーサルサービスとして本当に必要なサービスを守るという利用者目線や、通信事業の競争を促進するという事業者目線などそれぞれの立場のバランスを取りながら検討していく、といった観点も大切にされています。多くの関係者の多様なニーズを汲み取りながら、通信の未来をデザインしていくことは、難しいけれどおもしろいことだと思います。

Q 今までで一番印象に残った仕事は？

A 以前、海底ケーブルを使ってサービスを提供する通信事業者と関わる業務を担当していたときに、通信事業者が海底ケーブルを引くために世界中の関係者との調整に尽力している話や、それを引くことによって動画サービスなどの通信の利用がいかにも便利になるかといった話など、日本が誇る技術者の熱い話を聞いたのが印象的です。仕事をすることで、自分が普段意識せずに使っているサービスを支えるために働いている人と出会い、様々な知識を学ぶことができ、いい刺激を受けることができておもしろいです。

Q 将来、どのような仕事に挑戦したい？

A これまでは、個別の政策課題に取り組む、いわゆる原課といわれるところに配属されてきたので、次は、自分が関わっている業務の全体像がみられるような仕事にも挑戦して、視野を広げられるようになりたいです。その上で、ICTの事業により深く関わられるよう、取り組んでいければなと思っています。

Private
Time

冬に学生時代の友人とスノーボードに出かけるのを楽しみにしています。雪のない季節は、グルメイベントや岩盤浴に行ったりしてゆっくりした時間を過ごします。夏は、職場から近い日比谷公園で開催されるオクトーバーフェストも毎年の楽しみの一つです。

